



激走！ 校内マラソン大会

10月2日、前週から延期した校内マラソン大会を実施しました。業間の活動や体育の時間のコース試走などを通して練習に取り組みました。本番では、どの子も自分の目標に向かって走ることができました。保護者の皆様に多数お越しいただきました。声援や熱いまなざしが子ども達の背中を押してくれたことと思います。お忙しいところありがとうございました。

さて、言うまでもなくマラソンは体と心を鍛えてくれます。子ども達の運動機会減少による体力の低下とならないよう、体育の授業だけでなく業間運動に取り組んでいます。取り組み期間を定期的に設けることで、運動機能を高めるよう努めています。その成果を試す場が今回のマラソン大会です。また、得意な子もそうではない子も、マラソンに向けて目標を立てました。その目標を達成するために自分なりにどう取り組んでいくかを経験することが、大切だと考えています。自分なりにどうしたら目標に近づくことできたのか、あるいは達成することができたのか、そのことを振り返ることが大切です。振り返ったことが、今後の生活の中で次の目標への取り組み方と意欲につながるはずです。今年のマラソンの取組でも貴重な経験をすることができたように思います。

【入賞者一覧】



【一生懸命に走る子ども達】

学年	種別順位	氏名	記録
1 年	第 1 位	大 和	5 分 0 5 秒
	第 2 位	修 大	5 分 1 8 秒
	第 3 位	風 太	5 分 2 2 秒
	第 1 位	桃 佳	5 分 4 2 秒
	第 2 位	紬 生	5 分 5 4 秒
	第 3 位	結 愛	6 分 1 1 秒
2 年	第 1 位	大 翔	5 分 0 6 秒
	第 2 位	一 輝	5 分 1 0 秒
	第 3 位	礼 斗	5 分 1 4 秒
	第 1 位	詩 乃	4 分 5 5 秒
	第 2 位	鈴 葉	5 分 0 0 秒
	第 3 位	楓	5 分 0 7 秒
3 年	第 1 位	璃	7 分 1 4 秒
	第 2 位	瑞 己	7 分 3 7 秒
	第 3 位	日 和	7 分 5 5 秒
	第 1 位	美 怜	6 分 4 5 秒
	第 2 位	万 葉	7 分 3 0 秒
	第 3 位	楓 奈	7 分 4 3 秒

学年	種別順位	氏名	記録
4 年	第 1 位	勇 太	7 分 0 8 秒
	第 2 位	豪 思	7 分 1 0 秒
	第 3 位	瑠 毅	9 分 0 5 秒
	第 1 位	咲 帆	6 分 5 4 秒
	第 2 位	かおり	7 分 2 3 秒
	第 3 位	桜 舞	7 分 4 7 秒
5 年	第 1 位	快 都	8 分 2 3 秒新記録
	第 2 位	龍 飛	9 分 2 3 秒
	第 3 位	龍 麻	9 分 3 0 秒
	第 1 位	璃 音	9 分 0 7 秒
	第 2 位	エ リ	9 分 2 6 秒
	第 3 位	優美音	9 分 5 1 秒
6 年	第 1 位	典 慈	8 分 2 2 秒
	第 2 位	桐 十	1 0 分 2 3 秒
	第 3 位	新	1 0 分 3 8 秒
	第 1 位	奈 子	1 0 分 4 5 秒
	第 2 位	心 結	1 2 分 3 4 秒
	第 3 位	七 海	1 3 分 4 9 秒

♪心ひとつに ハーモニー♪

10月6日（金）、3・4年生が市内音楽発表会に参加しました。当日は八重樫さんの伴奏に合わせ、精一杯歌ってきました。2学期に入ってから、音楽の時間を使って練習に取り組みました。一人一人がより良い歌を目指して努力を重ねてきました。その成果を安代小学校で存分に発揮することができました。子ども達の耳や心には、友達と合わせた音の心地よさが残ったことでしょう。「誰かと合わせること」それは、大変なことだと気づいたはずですが、自分だけでなく、相手を思いやることの素



【心を込めて歌う子ども達】

晴らしさを改めて学んだことと思います。練習から当日まで、思いのこもった伴奏をしていただいた八重樫さん、大変ありがとうございました。



【心を込めて歌う子ども達】

芸術鑑賞教室 本物すごい！

日本で古くから口承で伝えられてきた歌唱曲「民謡」の鑑賞教室がありました。

教室には岩手県民謡協会より、6名の方々にお越しいただきました。岩手の民謡を中心に教材化されている全国の民謡や踊りを披露していただきました。民謡や和楽器の解説もしていただきました。響き渡る声と和楽器の音、繊細な踊りに子ども達は興味津々でした。「外山節」はフレーズごとに練習し、全校で歌いました。



【教室の様子】

ある日の出来事から

- ◇ 学習発表会が来週の土曜日となりました。各学年では、それぞれ当日の目標達成に向けて練習に励んでいます。会場の準備をしてくれたのは、5・6年生です。高学年として、全校のために働いてくれました。「ここは、こうしたほうがいいんじゃない」といった声も聞かれ、自分たちなりに考えて働く姿に成長を感じました。

